

被災状況収集システム

- 被災証明発行支援システム -

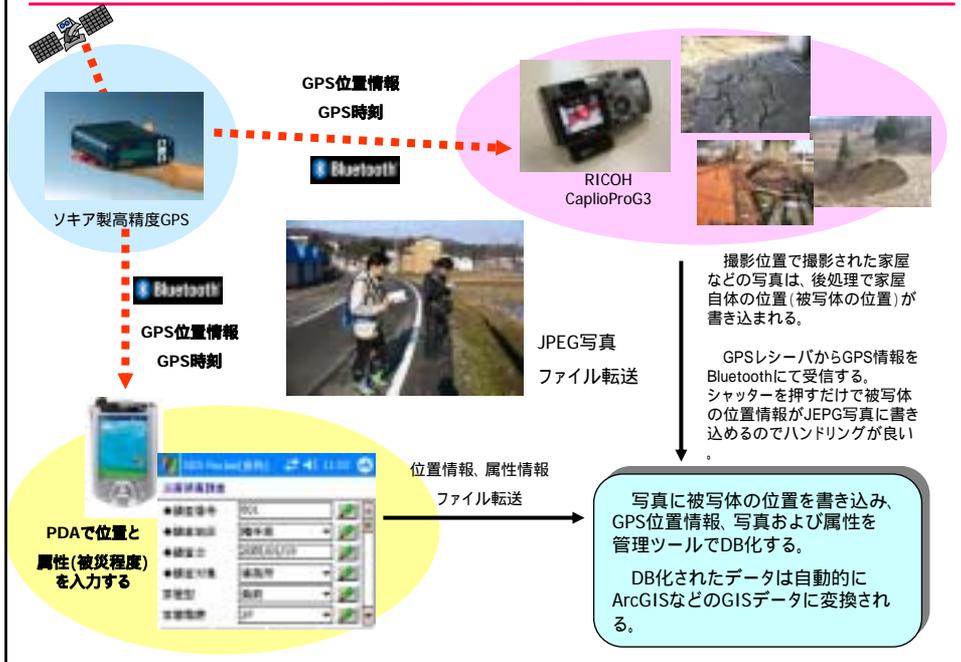
- 事例:新潟中越地震被害調査の例 -

株式会社ソキア

受賞協賛企業:

株式会社リコー、株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア、株式会社ターニングポイント

被災状況データの収集 - 災害情報入力デバイス -



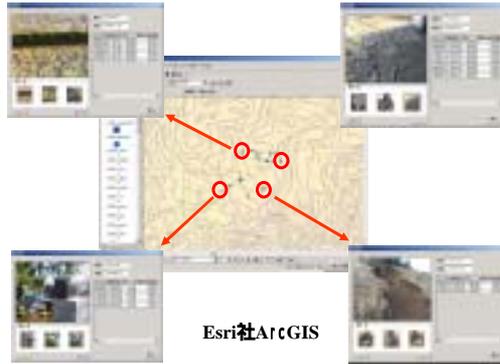
被災調査データのDB化およびGISへの取込み

SOKKIA



被災調査データ
(位置 + 画像 + 属性)

GISへ自動取込



Esri社 ArcGIS

帳票の自動作成



被災状況調査票(写真付)

収集した被災調査データのGISへの自動取込

- ・収集したデータは、自動的にシェイプファイルなどの既存のGISアプリケーションに対応した各種GISデータへと変換される。
- ・家屋の破損状況だけでなく、高精度GPS情報によりGISのデジタルマップ上でデータ収集後、即座に被災家屋の場所も特定できる。

収集データのデータベース化および自動帳票出力

収集したデータはデータベースで管理し、帳票として出力できる。帳票は自由に編集可能なレイアウトで出力できる。また、Webで公開することも可能である。

被災状況収集システム

SOKKIA

